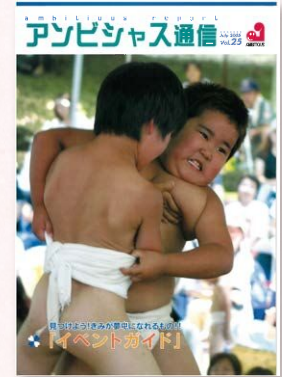
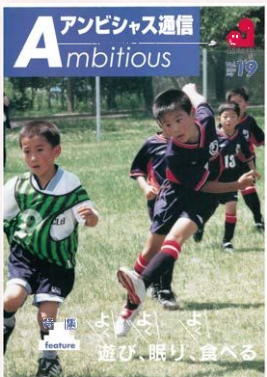
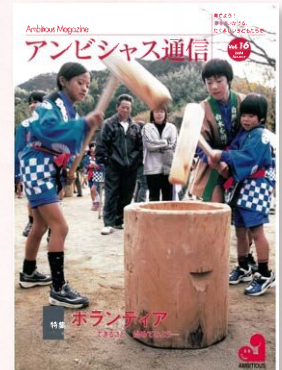


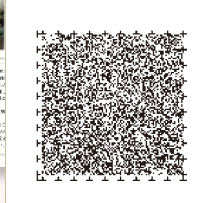
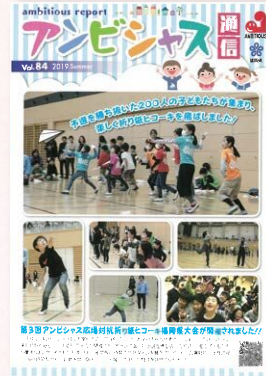
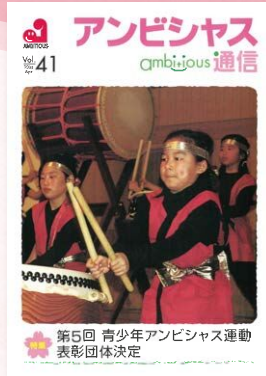
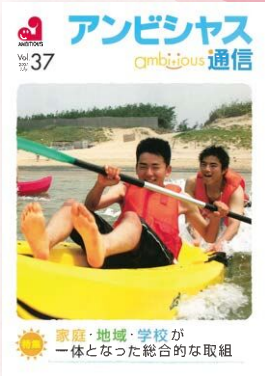


# アンビシャス通信

ambitious report



## 青少年アンビシャス運動は、皆様とともにネクストステージへ!!



# 第20回青少年アンビシャス運動参加団体等表彰 団体表彰

(敬称略・50音順) 代表は令和5年2月時点

## 落合子てんぐクラブアンビシャス広場

代表： 添田町  
奏 かおり

落合小学校区の小学生を対象としたアンビシャス広場。居場所づくり、英彦山の自然を使った体験活動を実施。

NPO法人アートもん主催の「木もく祭り」に英彦山こてんぐ塾などの他団体とともに参加。木のおもちゃや玩具、木工体験、チェーンソーカービング実演など、子ども達が「木」をテーマに楽しみながら学べるイベントを提供している。

自然豊かな英彦山で体験活動を行うことにより、子ども達の視野を広げるだけでなく、自分たちの地域(添田町)の良さを発見できる機会にもなり、子ども達の郷土愛を育てている。



英彦山ガイド体験

## 上白水アンビシャス広場

代表： 春日市  
金堂 孝義

春日西中学校区の小学生を対象とした広場。季節のイベント(クリスマス会、ハロウィン)、体験活動(水墨画、五色百人一首、太鼓、グラウンドゴルフ、ダンス、英語、アートクラブ)を実施。

子ども達の要望や地域の方の声を受け、水墨画や五色百人一首、太鼓、アートクラブを活動に取り入れるなど、柔軟に活動環境を整え、様々な体験活動ができるよう工夫をしている。

グラウンドゴルフでは、他の団体と連携し、各チームに1~2名のシニアクラブの方に講師として入ってもらい、活動している。



クリスマス会 太鼓の演奏

## 子育てふれあい広場 れもんぐらす

代表： 大牟田市  
堺 婦小与

手鎌校区・明治校区の小学生、大牟田市内外の乳幼児と保護者を対象としたアンビシャス広場。絵本の読み聞かせ、季節に合わせたイベント(うちわ手形づくり、七夕、水遊び、バルーンアート、ハンドマッサージ)などを実施。

公民館サークル連絡会や、市の保健センターと連携し、イベントを実施するなど、他団体とともに活動している。

保護者が、子育ての悩み等を相談できる場所でもあるため、子どもだけでなく、保護者にとっても安心できる居場所になっている。



乳幼児への絵本の読み聞かせ

## たけのこ文庫

代表： 古賀市  
草野 三保子

古賀市立千鳥小学校での朝の読書、千鳥っ子フェスタでのお話会や作って遊ぼう体験、読み聞かせなどの文庫活動、小学生みみずクラブ作物づくり、玉葱まるごとカレー・竹パンづくりなどを実施。

読み聞かせやおはなしと科学実験を組み合わせた「理科読」を取り入れており、子ども達に読書活動だけでなく、科学の楽しさを体験できる機会を提供している。

絵本ピクニックでは子ども達が好きな絵本を選び、展示している。気軽に絵本の世界に触れられるような取り組みを続けることで、子ども達の聞く力、想像力、集中力を育てている。



乳幼児おはなし会

## 天神の丘アンビシャス広場

代表： 北九州市  
今浪 清二

横代小学校区の小学生を対象としたアンビシャス広場。読み語り、工作教室、スポーツ教室の企画・運営を実施。

総合型地域スポーツクラブ「天神の丘スポーツクラブ」と連携したスポーツ教室では、多くの子ども達にスポーツの楽しさを感じてもらい、体力向上を図っている。

令和4年度から「劇団あらかると」とのコラボによる絵本の読み語りと工作会を開始。劇団員による迫力ある読み語りと季節感にあふれる工作会は参加者に好評である。



スポーツ教室

## 特定非営利活動法人 男女・子育て環境改善研究所

代表： 東峰村  
城田 知子

親子の料理教室、東峰村での自然体験教室、親子ミニ防災教室を実施。東峰村SDGsチャレンジ体験教室では、里山や棚田の景観を守るためには人の手が欠かせないことを学ぶとともに、福岡都市圏での普段の生活では体験することができない自然の中での活動の楽しさを知ることで、子ども達の考えの幅や視野が広がっている。

東峰村の資源を活かして活動している若手農業後継者団体や福岡市内のおやじの会の方とともに企画・運営をするなど、都市・中山間地域で連携し、子ども達に様々な体験教室を提供している。



東峰村SDGsチャレンジ体験教室

## とんからりん文庫

代表： 吉富町  
土屋 富子

乳幼児から5歳児までの健診時の個別読み聞かせ、未就学児対象のお話し会(毎月1回)、読書啓発資料の配布を実施。

毎月、「とんからりん文庫だより」「とんからりん」を発行し、町の図書館、子育て支援センター、吉富町あいあいセンター、土屋ミニ図書館に掲示・配布し、読書啓発に尽力している。

「吉富町読書ボランティアの会」として他団体と協力し、「絵本の広場」を吉富町文化祭の同一敷地内にて開催。約900冊の絵本うち、約400冊をとんからりん文庫が展示し、お話し会を開催するなど、子ども達の興味・関心を高めるために尽力している。



絵本の広場

## 東国分校区アンビシャス広場

代表： 久留米市  
田中 真二

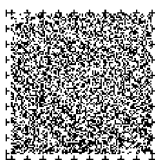
東国分校区の小学生を対象としたアンビシャス広場。居場所づくりとして、勉強、遊び場所を提供し、囲碁、日本舞踊、金管楽器の体験活動を実施。

年に1、2回広場で開催している発表会や、地域で開催している文化祭、校区まつり、クリスマス会、卒業コンサート等のイベントに参加した際には、日本舞踊、金管楽器の日々の練習の成果を発表できる機会を設けている。

老人クラブや明星中学校に体験活動の講師依頼をしており、校区ぐるみで子ども達に様々な体験を提供できる環境づくりに尽力している。



文化発表会 日本舞踊教室



## 福岡県立若松高等学校

代表： 北九州市  
小山 繁

学生が日々利用している若松駅周辺での清掃活動、地元の夏祭り等のイベントでのボランティア活動を実施。

他校の生徒やロータリークラブと合同で行うボランティア活動(ラプアース岩屋海岸)や、地域との協働による若松学(探求型学習)の研究結果の発表を通し、ボランティア精神のみならず、地域の様々なコミュニティにおいて人と人のつながり=「輪」が広がっている。

また、学校としての参加だけでなく、生徒個人で積極的にボランティアに参加する姿も見られるなど、生徒自身の郷土愛や探究的・協働的に学ぶ力が育まれている。



若松駅周辺での清掃活動

## 福岡南小校区アンビシャス広場

代表： 福津市  
船越 重利

福岡南小学校区の小学生を対象としたアンビシャス広場。自由遊び、季節ごとの体験イベント、イベントを通じた食育活動を実施。

12月のイベント(わら細工、しめかざり作り)では地区の長老の方に講師依頼を行い、1月の鏡開きでは地区の方と一緒にぜんざい会を開催するなど、地域全体で子どもを育てようという意識があり、協力体制がとれている。

また、ナイフを使った鉛筆削り、竹筍づくりを実施するなど、現代の子ども達が普段の生活では体験できないような貴重な体験を提供している。



季節行事 わら細工体験

# 第20回青少年アンビシャス運動参加団体等表彰 個人表彰

(敬称略・50音順)

## 上田 歌子 氏

あすなる会アンビシャス広場・代表 嘉麻市

あすなる会アンビシャス広場の立ち上げ当初から現在まで20年以上にわたり、日本伝統の遊びを伝授し、卓球、バトミントン、ゴムとびなどの運動の企画・運営や子ども達の指導を行い、広場運営の中心的役割を担っている。異学年、地域交流を経験できる環境づくりに尽力しており、子ども達の協働性、自主性を育てている。



また、広場で掛け算九九の指導も行っており、子ども達はのびのびと学習することで、成績の向上に繋がり、学校の先生方からも好評を得ている。

## 上別府 洋子 氏

青葉アンビシャス広場・会計 福岡市

長年にわたり、青葉アンビシャス広場の委員として、子ども達が安心して過ごせるよう登下校時の見守り活動や、広場での子ども達へ本の読み聞かせを続け、子ども達の情緒豊かな心を育て、健全育成を図っている。



子ども達の感情・表情の変化にも気づき、子ども達が抱えている問題の解決にも尽力している。心の不安定な子どもにもあたたかく寄り添う姿は、子ども達だけでなく、保護者にも慕われ、安心して相談できる存在になっており、他のスタッフの模範となっている。

## 坂井 和子 氏

谷っ子アンビシャス広場・コーディネーター 春日市

春日市初のアンビシャス広場である「谷っ子アンビシャス広場」の開設に際し、人材及び会場確保のため、ボランティア組織の立ち上げや、学校及び自治会へ何度も足を運び、根気強く説明するなど、事業理解の促進に尽力した。



20年以上にわたり、毎週広場活動に参加し、様々な体験活動の企画や運営、連絡調整、広報活動等、広場運営の中心的役割を担い、地域全体で子どもを育てるという事についてのきっかけ作りや青少年の健全育成に寄与してきた。

## 永富 充生 氏

東校区「ふれあい」アンビシャス広場・副委員長 直方市

開設当初から、豊かな心を持ち、将来直方を担う子ども達を育てることを目標にして、イベント(神輿、相撲、餅つき等)の企画から準備、運営まで中心的に携わり、伝統文化を楽しく体験できる機会を提供している。



広場や近隣の小学校、幼稚園、保育園の子ども達にイベントへの参加を呼び掛けるだけでなく、県や直方市発行の広報誌やマスコミを活用して、広場の活動内容を積極的に情報発信しており、アンビシャス運動の普及啓発に貢献している。

## 宮地 久男 氏

八幡東区警察署少年補導員連絡会・会長 北九州市

長年にわたり、昼夜における非行防止パトロール、登下校時の見守り活動を行っており、少年健全育成活動及び非行防止活動に貢献している。



また、少年の立ち直り支援として、多世代農園活動を実施しており、地域の子供達と補導員が農作業を通して交流することで豊かな心を育むとともに立ち直りのきっかけづくりに尽力している。

毎月役員会を開催し、常に社会情勢に合わせた活動を推進し、継続できるよう取り組んでいる。

## 宮本 充範 氏

津福校区アンビシャス広場・顧問 久留米市

開設当初から、津福校区アンビシャス広場事務局長としての責任を果たし、退任後も顧問として、広場の運営の指導のほか、津福小学校の学習習慣定着事業に協力し、放課後学習支援を行うなど、子ども達の健全育成に努めている。



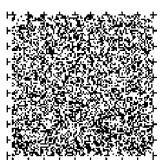
他団体とも連携し、イベント(子どもフェスタ津福、クリスマス発表会、国際交流会等)を企画・運営する際には、他団体スタッフにアンビシャス運動の意義を伝える等、アンビシャス運動の普及・啓発に尽力している。

# 第20回青少年アンビシャス運動参加団体等表彰 感謝状交付

(敬称略・50音順)

豊 福 徳 明 氏(北九州市)  
佐 藤 和 子 氏(うきは市)  
角 田 光 利 氏(久留米市)  
佐 谷 英 和 氏(福岡市)  
熊 谷 紀 代 氏(小郡市)  
牟田口 理美子 氏(飯塚市)

竹の子プレイスクールスポーツ少年団・指導員  
耳納アンビシャス広場・読み聞かせ代表  
津福校区アンビシャス広場・委員  
青葉おやじの会・代表  
くまさん文庫・代表  
片島地区放課後子ども教室 推進事業運営委員会・委員長





# 第6回アンビシャス広場対抗折り紙ヒコーキ福岡県大会が開催されました!

令和4年12月4日(日)、第6回アンビシャス広場対抗折り紙ヒコーキ福岡県大会が太宰府市のとびうめアリーナ(太宰府市総合体育館)で開催され、県内各地で実施した地区予選を勝ち抜いた子どもたち169名が参加。新型コロナウイルス感染防止対策として、A班(午前の部)・B班(午後の部)の2つに分けて競技を実施しました。



主催 福岡県アンビシャス広場連絡協議会  
共催 青少年アンビシャス運動推進本部  
太宰府市教育委員会  
特別協賛 シンコースポーツ九州 株式会社

## ○団体の部

順位	記録	チーム名(市町村)	チームメンバー
優勝	28秒10	国分アンビシャスA(太宰府市)	金子 直白・平山 大虎・渡辺 昊
準優勝	25秒82	国分アンビシャスB(太宰府市)	荻 遥人・藤吉 哲平・森田 泰誠
第3位	22秒79	はやめカッピーズA(大牟田市)	前原 匡捷・平井 瑠菜・藤山 寿史

## ○個人の部 / 飛行距離

順位	記録	氏名	広場名・小学校名(市町村)
優勝	33m53	鳥居 暖広	すぐっ子アンビシャス広場(春日市)
準優勝	29m82	塩出 琉翔	太宰府小学校(太宰府市)
第3位	29m53	金子 直白	国分アンビシャス広場(太宰府市)

## ○個人の部 / 飛行時間

順位	記録	氏名	広場名(市町村)
優勝	11秒67	森田 泰誠	国分アンビシャス広場(太宰府市)
準優勝	11秒21	鳥居 暖広	すぐっ子アンビシャス広場(春日市)
第3位	11秒15	渡辺 昊	国分アンビシャス広場(太宰府市)

## ○女子の部

順位	記録	氏名	広場名(市町村)
飛行距離(1位)	15m85	原田 楓杏	かやっこアンビシャス広場(糸島市)
飛行時間(1位)	7秒44	大塚 幸花	小郡アンビシャス広場(小郡市)

## ○低学年(小学校1、2年生)の部

順位	記録	氏名	広場名(市町村)
飛行距離(1位)	19m84	佐々木 蓮磨	すぐっ子アンビシャス広場(春日市)
飛行時間(1位)	7秒75	坂本 司	春日南小学校区アンビシャス広場(春日市)

## 青少年アンビシャス運動 参加証新規交付団体一覧 (第166～第167回)

(第166回)令和4年10月1日参加証交付分 1団体  
(第167回)令和4年12月1日参加証交付分 3団体

累計  
1,992団体

団体名	代表者氏名	活動内容	所在市町村
<b>2 地域ぐるみで子どもを育てよう(1)</b>			
株式会社 猿	小林 大祥	地域の子どもに、質の高い教育を	福岡市城南区
<b>4 読書をしよう(1)</b>			
株式会社Soelu	永田 達成	読書を行い知識の習得と感性を磨く運動	福岡市中央区
<b>7 大学も企業もアンビシャス運動を応援しよう(2)</b>			
株式会社WACARU NET	鎌田 大樹	Webサイト制作講座	神奈川県
ウェブコロール株式会社	杉岡 玲生	ゴミ拾い活動	福岡市中央区

## 「青少年アンビシャス運動支援の会」 活動実績

「青少年アンビシャス運動支援の会」は、民間企業が発起人となり設立され、設立以来、青少年アンビシャス運動参加団体が行う優れた事業に対して、助成を実施しました。また、本部長(知事)表彰を受けた参加団体に対して、副賞を贈呈しました。



令和4年度も、表彰団体に対し、支援の会から副賞が贈呈されました。

助成金交付 (平成14年度～令和4年度)	副賞金贈呈 (平成15年度～令和4年度)
件数：463件 助成金：132百万円	件数：188件 助成金：12百万円

## 「未来子どもチャレンジ応援プロジェクト」を始動

平成13年にスタートした青少年アンビシャス運動は開始から21年が経過し、これまで多くの団体が県内各地でアンビシャスな青少年の育成に取り組んできました。

同運動では、アンビシャス広場や読書活動などの推進が図られ、今後もこうした運動の成果を発展的に継承し、市町村や企業等の多様な主体が提供する体験活動を通じて、子ども同士が切磋琢磨する「未来子どもチャレンジ応援プロジェクト」を新たに開始することとなりました。

本プロジェクトの推進には、これまで同様、地域の皆様のご協力が不可欠です。これからも、子どもたちへ豊かな体験の機会を提供し、失敗を恐れずそれぞれの夢に向かってチャレンジできるように、ともに子どもたちを応援していきましょう。

### 今後の 主な取組

- (1) 市町村による体験活動を支援**
  - 体験活動を実施する市町村へ補助
  - 体験活動指導者の養成 など
- (2) アンビシャス広場をはじめとする子どもの居場所の体験活動を支援**
  - 体験活動を提供する企業と子どもの居場所をマッチング
  - 「折り紙ヒコーキ大会」の参加団体を拡大し、県大会の開催を支援 など
- (3) 高校生の体験活動を支援**
  - 高校生が被災地等で宿舎し、海外からのボランティアや地域の人々と交流する「国際ボランティアワーク」を実施 など
- (4) 体験活動の場や取組を情報発信**
  - 市町村、企業等が提供する体験活動の様子や実施状況を発信するため、体験活動のマップやホームページを作成

※なお、本プロジェクトの推進に当たっては、(公社)福岡県青少年育成県民会議と連携して取り組んでまいります。



★アンビシャス通信vol.97 / 令和5年3月発行

★編集・発行 / 福岡県青少年育成課 〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7 TEL 092-643-3615 FAX 092-643-3389  
E-mail: ambitious@pref.fukuoka.lg.jp